

## いながき昭義プロフィール

昭和47年6月10日 四日市市東坂部町生まれ（現在39歳）  
大池中学校・四日市高等学校・立教大学法学部卒業  
平成7年4月 株式会社三重銀行入行（富田支店に配属）  
平成10年8月 株式会社三重銀行退社 次世代のために政治活動開始  
平成11年4月 三重県議会議員選挙出馬（26歳）12,431票で次点（416票差）  
学習塾・パソコン教室などを立ち上げ4年間生活。  
NPO法人三重県フリーマーケット協会設立などたくさんのNPO活動に携わる。  
平成15年4月 三重県議会議員選挙 初当選（30歳）最年少  
平成19年4月 三重県議会議員選挙 二期連続当選  
平成23年4月 三重県議会議員選挙 三期連続当選  
政策防災常任委員会委員長、NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会委員長、  
四日市港管理組合議会第45代議長（歴代最年少）等を歴任

【現在】

県議会最大会派「新政みえ」政策局長

【その他】

### ブログ「初心、継続。」・「Face Book」は日々更新。

## ◆東日本大震災から一年◆

東日本大震災から一年が経ちました。あらためて被災地の復興を願い、犠牲になられた方々の御霊が安らかならんことをお祈り申し上げます。

東日本大震災は、私にとって政治とは何か、政治家としての役割は何かをあらためて考えさせられる出来ごとでありました。毎年、3月11日を迎えるたびにこの問いかけを自問していきたいと思えます。

3月11日は、長男義海の誕生日です。昨年の3月11日に誕生祝をしたのかどのように過ごしたのか記憶にありませんが、今年は、元気に5歳の誕生日を迎えることができたことに感謝です。ささやかに家族で息子の誕生祝いができることを幸せに思います。東日本の子どもたちにも早く多くの笑顔が戻るため、私達にはやるべきことがたくさんあります。自分の役割を精一杯果たしていきたいと思えます。

## 《平成24年度当初予算の防災関係主なもの》

- 避難対策推進事業（2億3,640万円）・・・津波避難施設整備、津波避難路整備、津波ハザードマップ作成等
- 新地震対策行動計画策定事業（1億7,410万円）・・・地震被害想定調査を行い新地震対策行動計画（仮称）を策定
- 大規模災害対応広域支援・受援体制緊急整備事業（1,816万円）・・・広域防災拠点整備等
- 防災関連人材緊急育成事業（2,486万円）・・・総合防災人材育成研修制度の構築等
- 学校防災機能強化事業（4億4,505万円）・・・県立学校・小中学校の防災機能強化等
- 学校施設の耐震化推進事業（8億2,772万円）・・・耐震補強・耐震点検等
- 河川施設緊急地震・津波対策事業（9億3,281万円）・・・河川堤防の緊急補強、大型水門の耐震対策等
- 海岸保全施設緊急地震・津波対策事業（18億7,205万円）・・・海岸堤防の補強、防潮扉の動力化等
- 道路啓開対策事業（3億8,000万円）・・・道路啓開を迅速に展開できる体制整備等

発行：いながき昭義事務所 電話059-330-4088 FAX059-330-4089 〒512-0904 四日市市東坂部町75-1

<http://www.dream-21.jp>

三重県議会議員

あきよし

# いながき昭義

後援会  
会報

Contents もくじ

- ごあいさつ
- 県政座談会のご案内
- 関連質問で二つの新設基金の問題点指摘
- みえ歯と口腔の健康づくり条例を議員提案で制定
- 教育警察常任委員会報告
- 東日本大震災から一年



時下ますますご健勝のことと拝察しお慶び申し上げます。日頃は私の政治活動に深いご理解とご協力賜り感謝申し上げます。

鈴木県政初めての予算となる平成24年度予算や議定議案の「みえ歯と口腔の健康づくり条例」を含む98議案が3月19日に可決されました。

予算案は、私が関連質問で指摘をし、一部附帯決議を付して予算執行の条件をつけることとなりましたが、一般会計で約6,693億円、特別会計で約1,467億円、企業会計で約415億円となりました。

厳しい財政状況の中ですが、クリーンエネルギーバレー構想やスポーツ施策の推進、産業振興戦略、防災減災対策、学力向上など鈴木県政の特色が出ている内容となっています。

ブログやFBではほぼ毎日報告させていただいておりますが、2月3月会議の議論を中心に取りまとめましたのでぜひご一読いただきますようお願いいたします。

今後ともご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

三重県議会議員 稲垣昭義

## 県政座談会のご案内

定期的開催しております座談会を下記日程で行います。ぜひお誘い合わせでお越しください。どなたでも気軽にご参加いただける報告会です。よろしくお願ひします。

5月26日（土）18：30～	山田町高齢者若者センター
5月26日（土）19：30～	西山町公会所
6月3日（日）14：00～	富田地区市民センター
6月3日（日）15：00～	大矢知地区市民センター
6月3日（日）18：30～	常磐地区市民センター

■ブログ「初心、継続。」

<http://ameblo.jp/dream-21>

稲垣昭義 ブログ 検索

※ブログは日々更新しています。ぜひご覧ください。



# Vol.34

## ◆関連質問で二つの新設基金の問題点を指摘◆

稲垣昭義議員：

私は平成20年3月にこの本会議場で基金のあり方について議論をしました。当時、29基金があって、財政調整基金と県債管理基金を除いて特定目的基金は27でしたが、県の方針で、6つの基金を廃止して2つの基金を統合しました。

県はこれまで特定目的基金については減らしてきた流れがありますが、知事の特定目的基金に対する基本的な考え方をまずお聞かせください。

鈴木英敬知事：

稲垣議員からのご指摘の通り、また、県政のこれまでの流れの通り、目的が不明確な特定目的基金というのは整理統合していくという流れが一般的であり、そのような方向であるべきだと思っています。一方で、目的の重要性や、これまでの単なる事業では対応できない目的の新規性とか、そういう観点からやむを得ずつくらなければならないものは設立をすることもあると考えております。

稲垣昭義議員：

今議会で、三重県南部地域活性化基金と、三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金という二つの基金を新たに設置したいと上程されていますが、後者については災害時あるいは平常時の災害ボランティア支援と、平常時のNPO活動支援について分けて考えるべきと考えます。基金は目的が明確でなければいけないので災害ボランティア支援に限定し通常のNPO支援については、新たな仕組みをつくるのか、通常予算でしっかり対応していくべきと考えます。

もう一方の南部地域活性化基金についても同じことで南部地域の活性化という非常に重要な課題については、基金ではなく議会で議論を重ね予算化して取り組む必要があると思います。今回、5500万円の基金提案ですが、とりあえず積んでおくという考え方については問題であると考えますが南部地域活性化基金について考え方をお聞かせ下さい。

小林清人政策部長：

南部地域の活性化の事業は、県単独の事業で取り組むべきものと、県と市町が連携して取り組むものがあります。今回の予算でも、県が単独で取り組むものは明確に予算をつけて提案しています。市町と県が一緒になって取り組むものは、13市町と今まで5回ぐらい協議をしていますが、どういう事業を行うか煮詰めている最中です。県としては基金という形である一定の額を用意しておいて、その額を使いながら具体的にいったときには予算化していきたいと考えています。

稲垣昭義議員：

具体的な事業は決まっていますが5500万円お金があるから何かやりましょうという考え方は変な話です。基金というのはそもそもそのように使うものではありません。ちなみに5500万の基金の中で、市町と連携する取組はこれからとの答弁でしたが、県独自の事業でこの基金を使う予定は予算に上がっていますか。

小林清人政策部長：

この5500万円の事業については、市町と県が共同してやっていく事業のため、まだ予算化はしておりませんし、そういうものはございません。

稲垣昭義議員：

知事が新たに二つの特定目的基金を設置ということで提案いただいているのですが、本来の特定目的基金のあり方から問題があると考えますので議会でしっかり検証させていただきます。



### 【二つの基金の設置に関して全会一致で附帯決議を可決】

#### ■三重県南部地域活性化基金

基金に関する基本的な考え方を考慮し、4年を目途に基金を見直すこと。

#### ■三重県災害ボランティア支援及び特定非営利活動促進基金

当面は災害ボランティア活動支援に限定すること。様々な状況を勘案し条例の規定等について検討を加え、適宜必要な措置を講じること。

※附帯決議とは、執行部に対して予算を執行する際の条件をつけるもので、執行部はこれを尊重することが求められる。

## ◆みえ歯と口腔の健康づくり条例を議員提案で制定◆

本県の12歳児の一人平均の虫歯数は悪化しており、17歳の虫歯の数は全国ワースト2位です。特に南北格差が大きく東紀州の子ども達の歯と口腔の健康状態は最悪な状態です。このような状態を改善するため、私は新政みえの政策局長として4月の県議会議員選挙時の公約集として作成した「新政みえビジョン」に条例を策定し、歯と口腔施策を充実させることを訴えました。

県議会に条例検討会を設置し約半年間各派からの検討委員でしっかり議論し、3月19日に「みえ歯と口腔の健康づくり条例」を議員提案条例として制定することができました。パブリックコメントは222人から356件の意見をいただき県民の声を反映したい条例ができたと考えます。

### 《条例のポイント・本県の特徴》

- 障がい者や介護を必要とする者や妊産婦、乳幼児が必要とする歯科検診等を受けることができる環境整備を整える。
- 学校等でフッ化物洗口等の科学的根拠に基づく効果的な歯科保健対策を推進する。
- 歯科医療関係者と協力し、児童虐待の早期発見に関わる。
- 中山間地域等の歯科検診等を受けることができる環境整備を整える。
- 災害発生時の迅速な歯科保健医療体制の確保を行う。

私は子どもの頃から歯が悪く定期的に歯医者さんにお世話になっています。私のように子ども達が虫歯に苦しむことがないようにとの願いを込めてこの条例を作りました。



## ◆教育警察常任委員会報告◆

### 【三重県スポーツ施設整備方針策定へ!!】

昭和63年に策定された三重県スポーツ施設整備方針が25年ぶりに見直され新たに策定されます。これまで本県のスポーツ施設の貧弱さは何度も議会で議論されてきましたが、鈴木県政がスポーツに力を入れる方向性を示していることと、平成33年に三重国体を開催することを決定したこともあり見直すこととなりました。

中でも、画期的と私が思うのは、「プロ野球やJリーグの公式戦が開催できる施設の整備を進めます」と記載されることです。整備方針に沿って、平成24年度中に10年を目途とした計画である三重県スポーツ施設整備計画を策定しますので、具体的な計画に落とし込めるよう今後議論していきます。

### 【学校防災取組状況調査結果を公表】

平成23年度公立のすべての学校で実施されました「学校防災取組状況調査」の結果が公表されました。登下校中や校外学習中の災害発生時の教職員役割分担が決まっている学校が55%と低いことや、学校が避難所となった場合の対応や、地域、市町の防災担当課との連携が明確になっていないことが分かりました。

この調査は非常に重要であり、毎年やっていくとのことですので、足りない部分をしっかり把握して予算措置等の対応ができるよう取り組んでいきます。



1月16日 オリックス西勇輝投手後援会設立、後援会長就任



1月27日 メガソーラたけとよ視察



1月30日 全国青年都道府県議の会総会、田原総一郎氏と共に



2月2日 つくば産業技術総合研究所視察



2月3日 垂坂元三大師にて節分豆まき



3月13日 直嶋前経済産業大臣と共に

### 稲垣昭義 活動ショット!